



2022年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社カオナビ  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 柳橋 仁機  
 (コード：4435、東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 CFO 橋本 公隆  
 (Email：ir@kaonavi.jp)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表した2022年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期通期業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	4,540	100	93	26	2.28
今回修正予想(B)	4,490	147	136	69	6.01
増減額(B-A)	△50	47	43	43	
増減率(%)	△1.1	47.0	46.2	165.4	
(参考)前期実績 (2021年3月期)	3,402	△11	△16	△131	△11.59

## 2. 修正の理由

「カオナビ」の月額利用料から計上されるストック収益につきましては、新規顧客の獲得と顧客単価の上昇が堅調に推移していることに加えて、解約率も低水準で推移していることから、前回発表を上回る成長を見込んでおります。一方で、初期費用や有償サポート等から計上されるフロー収益につきましては、主に有償サポートの提供件数と単価が当初の想定を下回ったことから、前回発表を下回る見通しとなりました。

ストック収益：(前回発表) 3,840百万円、(今回修正) 3,930百万円(前期比+31.4%)

フロー収益：(前回発表) 700百万円、(今回修正) 560百万円(前期比+36.3%)

営業利益以下の各段階利益につきましては、人材採用の進捗が遅れ人件費や採用費が当初の想定を下回ったことなどを理由に、2022年3月期第3四半期までの実績が当初の計画を上回って推移したことから、前回発表を上回る見通しとなりました。一方で、足元の受注状況などを踏まえると、当社を取り巻く事業環境は着実に好転していることから、第4四半期においては当初の計画を上回る積極的な広告宣伝の支出を計画しており、また人材採用も当初の計画を若干上回る見通しであることから大幅な営業費用の増加を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しているため、実際の業績は様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

以上